

2月10日：VN指数は弱い値動きで推移 (VN-Index -0.94%)

- 今週初めのVN指数は下落して取引を開始した。
- 米トランプ大統領による関税政策が警戒感を呼び、前場は軟調な推移を記録した。
- 後場も弱気な相場展開が続き、最終的に指数は前営業日比で下落となった。
- セクター別では、素材やメディア、資本財・サービスセクターが特に下落した。
- 119銘柄が上昇、355銘柄が下落、56銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は6.9%増の15.4兆ドンとなった。

VN30指数は HPG が重しに (VN-30 -0.74%)

- 大型株で構成されるVN30指数は、9銘柄が上昇、16銘柄が下落、5銘柄が変わらずであった。
- 特に HPG (-4.69%) が大きく下落し、FPT (-2.81%) や MWG (-2.55%) なども続いた。
- 一方、STB (+2.67%) や MSN (+1.62%) などが指数を支えた。

セクター・個別株の動き

- HPG (-4.69%)、HSG (-4.52%)、NKG (-3.57%) をなどの鉄鋼株は、米トランプ氏の輸入鉄鋼とアルミニウムに25%の関税を課すとの発表を受け軟調な値動きとなった。
- VIC (-1.60%) は本日行われた政府常任委員会との会合にて、EV登録料を削減する政策の延長やEV利用者向け電気料金の優遇措置などを政府に提案した。
- 外国人投資家は3,960億ドンの売り越しとなった。HPG (-4.69%) や MWG (-2.55%) が大きく売り越された一方、STB (+2.67%) が最も買い越された。



このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。